

## ごあいさつ



平素より気仙沼信用金庫に対しまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ここに、当金庫の経営方針や業務内容、財務内容をはじめ、東日本大震災からの復興へ向けた各種取組みをご理解いただくため「気仙沼信用金庫ディスクロージャー2019」を作成いたしましたので、ご高覧頂ければ幸いです。

さて、早いもので東日本大震災から8年の歳月が経過しました。

振り返りますと、震災発生直後の状況から現在の姿は想像できず、日々精一杯目の前の課題に向き合って歩み続け、ここまで辿り着くことができました。

それも偏に、金融庁、東北財務局、信金中央金庫をはじめ行政や各種団体等からのご支援と地域の皆様の温かい励ましのおかげであり、衷心より感謝申し上げます。

地域の復興は未だ道半ばではありますが、今年に入り念願でありました大島大橋の供用開始や三陸縦貫自動車道はごく一部を除き全線開通、更には商業施設や公共施設が相次いで落成、また、建設を開始するなどインフラ面での整備が加速するとともに、経済効果が大きく期待されるようになってきております。

然しながら、震災以降続いている雇用のミスマッチによる労働力不足や販路回復の遅れが引き続き課題となっており、また、基幹産業である漁業や水産加工業においては主要魚種の水揚げ不振などの影響から苦戦が続くなど、地域経済は依然として低調のまま推移いたしております。

この様な環境ではありますが、令和元年度も地域経済の活性化を図るために行政や商工会議所との連携を密にして、積極的な金融仲介機能を発揮するとともに、持続可能なビジネスモデルを構築するため、役職員一丸となって邁進して参る所存でございますので、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年 7月

気仙沼信用金庫  
理事長 菅原 務

